

会派理念 | 市民の代弁者として、質の高い 議会をめざす

- * 少子高齢化・人口減少を喫緊の課題と捉え、政策立案と提言
- * 子育て・高齢者・障害者支援策の提言
- * 大野市に見合った公共交通網・公共施設の政策立案と提言
- * 地下水保全（健全な水循環）と水文化の創出
- * ジェンダーLessの取組み推進



笹山 晃一 岸本 一敏 猪嶋 清文 梶山 寿章

昨今の市政状況について

1 大野油坂道路 新子馬巢谷橋における工事課題について



工事課題の要因

- * 新子馬巢谷橋に大きな地すべり面を発見
 - * 橋脚ケーソンの沈下不能
 - * 竣工済橋台の沈下が判明
- ⇒大きな地すべりを起こす可能性がある**



令和11年春 開通予定 (※半年程度の前倒しを目指す)



出典 福井河川国道事務所

市民が待ち望んでいた中部縦貫自動車道路（九頭竜～油坂区間）の開通見通しが示されたことは、ありがたい事だが、約3年遅れることは残念でならない。会派としても本件を注視し、議会を通じて国土交通省 近畿地方整備局 福井河川国道事務所に対し、一刻も早い開通を要望していきます。

2 一般国道158号（上半原地係）斜面崩壊の復旧について

斜面崩壊の要因

- * 崩壊箇所は地下水が集まりやすい地形であった
- * 融雪により地下水が上昇し、斜面下段で小規模な表層崩壊が発生
- * 斜面の下部や側面の支えを失い、斜面全体の崩落が発生した可能性が高い



イメージ図

今後の復旧対策について

* **令和7年夏頃を目途に**、仮設道路（迂回路）を設置し、開通を目指す。

- ① 盛土構造案
- ② ボーリング調査実施
- ③ 仮橋2橋の設置



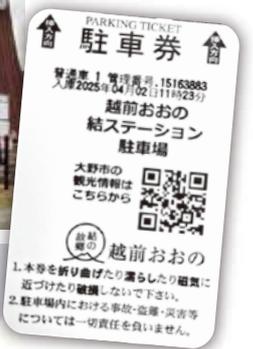
国道158号の上半原地係において3月19日に発生した大規模な土砂崩れや、中部縦貫自動車道（九頭竜～油坂区間）の開通遅延により、現在、岐阜県との行き来は分断された状況です。福井県の東の玄関口と位置づけられる重要な道路が使用できない状況は喜ばしいことではありません。会派としても議会を通じて、一刻も早い開通を要望していきます。

3 結ステーション北側・南側駐車場の有料化について

* 令和7年4月1日より**結ステーション北側・南側** 駐車場は**有料**になりました。

区分	料金
最初の30分	無料
最初の30分を含め2時間まで	200円
以降1時間につき	100円
※24時間最大（上限）	1,000円

* 利用促進イベントを実施する場合は、イベント時間帯分の料金を免除（無料券配布）します。



街中観光
OSORA利用
大野公民館利用等

さまざまな課題
今後検討の余地あり

4月1日より結ステーション北側・南側駐車場の有料化がスタートしました。市民の皆さまのお声をお聞きし、会派として行政としっかりした議論を進めていきます。

あっ宝んど

		区 分	新 使用料	旧 使用料
温浴施設	大人	中学生以上	700	600
		中学生以上の身体障害者手帳等所持者	500	300
		65歳以上の大野市民	600	500
	子供	3歳以上	350 (4歳以上)	300
		3歳以上の身体障害者手帳等所持者	250 (4歳以上)	150
プール施設	大人	中学生以上	700	600
		中学生以上の身体障害者手帳等所持者	500	300
		65歳以上の大野市民	600	500
	子供	3歳以上	350 (4歳以上)	500
		3歳以上の身体障害者手帳等所持者	250 (4歳以上)	250
温浴施設及び プール施設	大人	中学生以上	1200	1000
		中学生以上の身体障害者手帳等所持者	900	500
		65歳以上の大野市民	1100	900
	子供	3歳以上	600 (4歳以上)	300
		3歳以上の身体障害者手帳等所持者	400 (4歳以上)	150



うらら館/平成の湯

		区 分	新 使用料	旧 使用料
大人	中学生 以上	大野市民	700 (中学生以上)	600
		大野市民 (65歳以上)	600 (65歳以上の大野市民)	500
		大野市民以外	800	—
		中学生以上の身体障害者手帳等所持者	500	300
子供	3歳以上	大野市民	350 (4歳以上)	300
		大野市民以外	400	—
		3歳以上の身体障害者手帳等所持者	250 (4歳以上の身体障害者手帳等所持者)	150

平成の湯の営業について

- 下山の「平成の湯」は、光熱水費などの物価高騰、利用者数の減等の理由により、平日営業を取りやめ、**土日祝日のみの営業**となっています。
- 市は指定管理者（管理を請け負っているもの）と協議しているとのことであるが、本来、指定管理者は、設置条例（休館日や営業時間を定めている）に基づき営業を行うことが原則です。
- 本来であれば、営業を継続するため、契約の見直しが必要であると考えます。そのためには、市と指定管理者は利用者の立場に立って、十分協議を行っていただくことが必要です。

このようなことが許されるのであれば、他の指定管理施設にも悪影響を与え、市の指定管理者制度は崩壊し、成り立たなくなる可能性もあるため、会派としては、問題の早期解決を図り、本来の営業形態に戻すよう訴えていきます。



その他施設

*さまざまな施設において、物価高騰・光熱水費高騰により使用料変更のための条例改正が実施されました。

各施設の使用料変更が実施されますので、詳しくは各施設にお問い合わせください。

5 大野市文化会館について

➤ | 報告書がまとめられました

● 令和5年8月2日に大野市文化会館あり方検討委員会発足

*市長から全12名に委嘱状を交付

*大野市文化会館あり方検討委員会を立ち上げ、現在まで7回開催。

3月末に報告書が作成され市長へ提出されました。

また、市議会にも報告書が提出されました。



*報告書では、人口減少や市の財政状況などを考慮の上、2つの案が示されました。

①市内の既存施設を有効に活用する方法

②現文化会館の耐震化や長寿命化の可能性を探る

令和5年8月から7回開催された文化会館あり方検討委員会も無事終了し、この度、報告書が取りまとめられました。本報告書を踏まえ、市民・団体の文化活動が今後も未永く継続できるよう、会派としても慎重に文化会館のあり方を議論してまいります。

6 大野市 日本版ライドシェアの実証事業について

日本版ライドシェアとは、**タクシー事業者の管理のもと**、地域の一般ドライバーや自家用車を利用して有償で運送サービスを提供する制度です。



➤ | 実証事業の運行実績

● 実施時期：令和6年11月15日から令和7年2月15日

● 曜日・時間帯：金曜日、土曜日 20時から24時まで（運行日数28日）

● 実施主体：大野旅客自動車有限会社（大野タクシー）

● 利用方法：Goアプリ

● 運行実績：16件（0.57件/日）

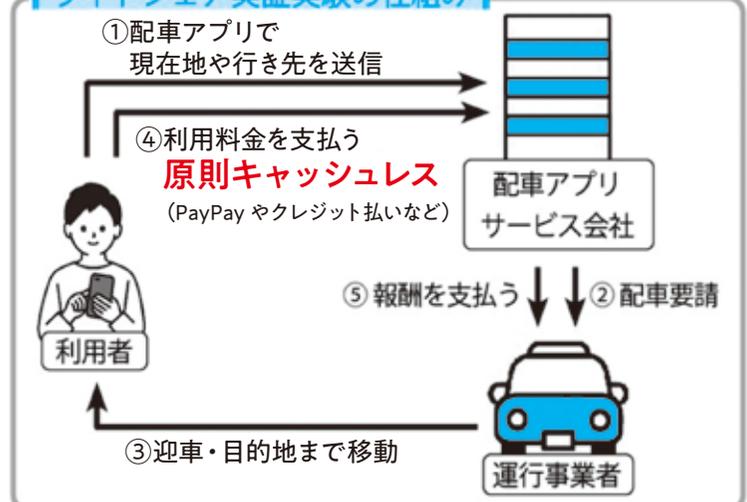
➤ | 令和7年度の支援策

市当初予算案

*省エネタクシー車両導入支援事業補助
3,000千円（2台分）

*タクシー二種免許取得支援事業補助
200千円（1名分）

ライドシェア実証実験の仕組み



大野市日本版ライドシェア実証実験がある事を、市民は理解・認知していたのか？
配車アプリの登録手続きや配車手配など複雑ではなかったのか？
特に高齢者には分かりづらかったのでは？などの課題が見えてきました。

7 六呂師高原活性化について

六呂師高原民間キャンプ場「SORA to DAICHI」オープン

● 県と大野市が進める六呂師高原活性化構想の一環

＊六呂師高原キャンプ場は、民間事業者である「奥越前パークコンソーシアム合同会社」が整備・運営する施設です。

＊年間のうち90日程度を県がキャンプ場を奥越前パークコンソーシアム合同会社から借り受け、その期間分について「公の施設」として設置します。



➤ | 大野市の課題

サン・スポーツランドの活用

- ＊利用者数減少により、テニスコートの廃止。
- ＊芝生グラウンドの料金改正 (1,050円/時間に改正)
- ＊六呂師高原キャンプ場とサン・スポーツランド（芝生グラウンド）の活用をどのように連動させていくのか？現状の施設で良いのか？



7月にオープンしますキャンプ場が、本市にとって観光客を呼び込む施設となるのか？運営者と市民が協力して、より良い観光拠点として展開していくことができるのか？会派として注視していきます。



8 大野市における休日部活動の地域移行について

＊休日部活動の地域移行状況

- 令和4年度：「軟式野球」「バスケットボール」「サッカー」
- 令和5年度：「吹奏楽」
- 令和6年度：「バレーボール」「卓球」「バドミントン」「ソフトテニス」「陸上」



➤ | 休日部活動地域移行の課題

① スクールバスの利用

⇒令和7年度は利用条件を整理したうえで、スクールバスを目的外利用で使えるように検討する。

② 会場の確保

⇒他の施設利用者と協議をしながら、使用しやすいように取り組む。



③ 使用料

⇒令和7年7月1日より、さまざまな施設使用料改定を実施する。減免措置も取り入れているため、担当課へ確認をお願いします。

休日の部活動地域移行の課題は部活動によりさまざまあります。各活動団体からのご意見・要望を参考にして、会派としても行政へ提案していきたいと考えています。

●七間通り公共下水道工事(約270m)

令和7年度以降:七間通りの公共下水道工事・舗装工事を実施予定



➤ | 七間通りの工事課題

①七間朝市・楽市への影響

⇒七間朝市・楽市は、大野市の400年以上続く歴史ある城下町「七間通り」で開催される市です。地元各組合、協会と常に連携をはかり、市街地活性化への悪影響がないように配慮が必要です。

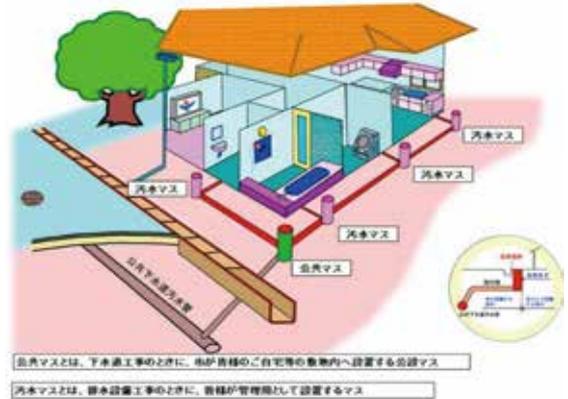
②排水設備工事(下水道加入)の向上

⇒高齢化が進んでいるので、加入金が高齢者に負担とならないのか懸念されます。

⇒住宅密集地での排水設備工事が適切に実施できるのか懸念されます。

③舗装工事

⇒平成4年5月に七間通りの石畳舗装が完成しました。景観を生かした道路ですが、地元住民と密な話し合いを実施し、住み良い環境を望みます。



公共マスとは、下水道工事のときに、市が各種の自宅等の敷地内へ設置する公設マス

私有マスとは、排水設備工事のときに、敷地が管理用として設置するマス

公共下水道事業は市民生活の質の向上に欠かすことの出来ない事業です。しかしながら高齢化が進み、市民一人一人が公共下水道加入に対し、さまざまな意見を持っていることも事実です。会派として下水道加入率向上に向け、行政に対し様々な意見を提案していきたいと考えています。

➤ | 課題と対応について

- * 除雪車出動後の除雪対応について
- * 圧雪処理の対応について
- * 早期の排雪対応について

令和6年度の降雪状況を踏まえ、市街地の幹線道路における**日中除雪対応や住民への周知方法**について検討します。除雪体制の構築に反映させるとのこと。

- * 通学路の安全確保について

除雪担当者と教育委員会とで通学路の情報共有を実施するとのこと。児童・生徒の安全確保を図ります。

市民が安全安心に暮らすことができるよう、会派としても注視してまいります。



①地震災害時の避難

* 一時的な避難場所として、まず公園などに避難しましょう。

* 自宅の倒壊などにより長期的な避難が必要な場合は、**小中学校などを避難所**として開設します。



②風水害時の避難所

* ハザードマップで、自分の居住場所などにどのような危険があるか事前に確認ください。

* 状況により、**地区の公民館**などを避難所として開設します。避難先の指定はありません。